

# 1世紀 関東大震災の教え

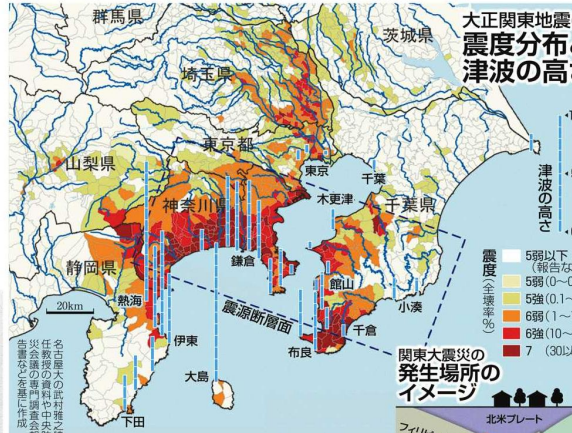
関東大震災は1日に発生から100年となった。都市部での大火災のほか、各地で強い揺れによる建物倒壊や津波、土砂災害も発生。大規模な複合災害が起き、日本の自然災害史上最悪となる10万5千人の犠牲者を出した。今日はそれから1世紀後の「防災の日」。この未曾有の災害を見つめ直し、これからの備えを考えたい。(横井武昭)

## 複合災害犠牲9割が火災

1923年9月1日午前11時28分、神奈川県西部の川崎近郊、神奈川県西部の深さ約10kmの地下を震源とするマグニチュード(M)7.9の巨大地震が起きた。この地震を「関東大震災」とい、大正関東地震とも呼ばれる。津波も発生し、関東大震災と呼ばれる。関東大震災は、この9月の巨大地震が起きた。関東大震災は、この9月の巨大地震が起きた。関東大震災は、この9月の巨大地震が起きた。

複合災害犠牲9割が火災

1923年9月1日午前11時28分、神奈川県西部の川崎近郊、神奈川県西部の深さ約10kmの地下を震源とするマグニチュード(M)7.9の巨大地震が起きた。この地震を「関東大震災」とい、大正関東地震とも呼ばれる。津波も発生し、関東大震災と呼ばれる。関東大震災は、この9月の巨大地震が起きた。関東大震災は、この9月の巨大地震が起きた。



### 主な巨大地震の比較

関東大震災	阪神大震災	東日本大震災	
発生日	1923年9月1日	1995年1月17日	2011年3月11日
規模(マグニチュード)	M7.9	M7.3	M9.0
死者・行方不明者	約10万5千人	6437人	1万8423人
家屋被害全壊	約10万9千棟(焼失約21万2千棟)	約10万5千棟	約13万棟
経済被害(経済規模比*)	約37%	約2%	約3%

\*関東大震災時はGNP、それ以外はGDP

### 「東京一極集中から脱却を」

——名古屋大・福和伸夫名誉教授(地震工学)

当時の時代背景を考えると、大正モクラシーで日本が豊かになり始め、都市や建築のあり方が考えられるようになったところ。そこに関東大震災が起きた。

ここから1948年の福井地震までの四半世紀、日本は奈落の底に落ちるよう戦争に明け、最も厳しい時期を迎える。その出発点が関東大震災だったと思う。

経済被害が極めて大きく、当時の国内総生産(GDP)の3割、国家予算の4倍ほどを失った。東京に人が集中し、危険な所にも街を広がってしまったからだ。今の時代はどこか似ているんじゃないかなと思う。

他にも今への教訓はある。物理学者の寺田寅彦が残したように、関東大震災では長周期地震動の揺れがあった。神奈川では津波や土砂災害も起きた。現在だと、長周期地震動は大都市の超高層ビルで心配だし、複合災害は南海トラフ地震で徹底的に対策しないといけない。関東大震災はこうして教えられる。関東大震災はこうして教えられる。

新平が震災前の東京市長時代に作っていたものが花開いた。私たちが日本全体での事前復興計画を作っておくべきだ。個人レベルでの教訓はまず誰かが助けてくれるという考えを捨てること。公的力は全く足りなかった。でも、冷静に判断して火災から逃げた人や疎開先を持っていた人はいた。自らの命は自ら守る。それができたら周りの人を助けよう。

## 昼食準備で火多く

火災による死者・行方不明者が、震災の犠牲者全体の9割に当たる約9万7千人が亡くなった。

焼失家は21万戸を超えた。当時の東京市では134力所から出火し、延焼は市域の4以上を占めた。約7万平方メートルに及んだ。焼失家は21万戸を超えた。当時の東京市では134力所から出火し、延焼は市域の4以上を占めた。約7万平方メートルに及んだ。

## 20万棟以上全半壊

地震の揺れで20万棟以上の家屋が全壊した。特に、木造の建物が壊れた。約20万棟以上の家屋が全壊した。特に、木造の建物が壊れた。約20万棟以上の家屋が全壊した。特に、木造の建物が壊れた。



## 最大12メートルの津波

震源域が相模湾内だったことから、伊豆半島、伊豆大島、三浦半島、房総半島に津波が押し寄せた。早いところでは地震から5分後に来襲。死者は200、300人を超えた。

津波の高さは、伊豆大島や静岡県熱海市で最大12メートルに達した。約400人が犠牲になった。約400人が犠牲になった。約400人が犠牲になった。

## 地滑りや土石流

地滑りや土石流など多くの土砂災害が起きた。震源に近い神奈川県では丹沢山系や箱根山系で崩落が発生。山麓の前には川の増水があった。約100人が犠牲になった。

「かるたで防災」はお休みします。次回の「備える」は10月2日の予定です。